

905
公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 月 日

団体名 年の差サロン

代表者 黒木 あい子

構成員 8 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

子どもとその親や、地域の高齢者との交流の場を作る事

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
12/3	こいばさ南館	子育て親子 地域の方	30人	イベントの中で世代を超えて 気軽に話せる場を作る
2/5	こいばさ南館	〃	30人	〃
他月1回 (9月~3月)	生年町公民館	〃	60~100人	月1回の多世代食堂の中で: 一人暮らしの高齢者さんや子どもたち 交流の時間を作っている。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

不定期のイベントでは、地域で世代を超えた交流の場をつくる機会を多く作り、
孤立化を防ぐ。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

施設に行く事はコロナにより難しくなりましたが、代わりに地域の中で交流の場も
作り、参加者から感謝の言葉ももらい、必要な活動だと感じている。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。